

球磨村立義務教育学校  
学校施設基本構想

令和4年10月  
球磨村教育委員会

# 目 次

1	基本構想の背景・目的	
	( 1 ) 策定の背景	・・・・・・・・・・P 1
	( 2 ) 基本構想の目的	・・・・・・・・・・P 1
2	基本構想の諸条件整理	
	( 1 ) 学校施設の総面積と児童生徒数	・・・・・・・・・・P 2
	( 2 ) 学校施設の配置状況	・・・・・・・・・・P 2
	( 3 ) 学校施設のあり方	・・・・・・・・・・P 3
	( 4 ) 学校施設の実態	・・・・・・・・・・P 3
3	球磨村立義務教育学校建設の基本方針	
	( 1 ) 基本目標	・・・・・・・・・・P 4
	( 2 ) 基本方針	・・・・・・・・・・P 5
	( 3 ) 整備方針	・・・・・・・・・・P 6
4	基本構想概要	・・・・・・・・・・P 7
5	義務教育学校施設形態について	・・・・・・・・・・P 8
6	建設予定地検討フローチャート	・・・・・・・・・・P10
7	整備スケジュール	・・・・・・・・・・P12
8	建設予定地比較表	・・・・・・・・・・P14
	( 1 ) A案概略計画図	・・・・・・・・・・P18
	( 2 ) B案概略計画図	・・・・・・・・・・P20
	( 3 ) C案概略計画図	・・・・・・・・・・P24
9	必要諸室、概略面積表	・・・・・・・・・・P28
10	その他	
	( 1 ) 現況校舎等状況写真	・・・・・・・・・・P30
	( 2 ) 球磨村総合運動公園 排水側溝状況写真	・・・・・・・・・・P32

## 1 基本構想の背景・目的

### (1) 策定の背景

令和2年7月の豪雨災害で渡小学校が被災したことにより、早急な復旧が必要となりました。

球磨村教育委員会では、球磨村立小学校及び中学校における児童生徒のより良い教育環境を目指し、球磨村立小中学校再編計画について検討するため、令和3年7月に「球磨村小中学校再編計画検討委員会」を設置し、「児童生徒のより良い教育環境に関すること」、「小中学校の再建方法、再編時期に関すること」、「複式学級の解消と特別支援教育の充実に関すること」について協議を重ねました。検討委員会では、令和2年7月豪雨災害で被災した渡小学校の復旧、少子化の進行により発生している複式学級の解消、村全体の教育活動の充実を目指すため、アンケートや保護者説明会等を実施し、地域の方々や保護者の意見・意向を把握しながら検討を進め、令和4年2月に教育委員会へ提言書を提出しました。

村では提言書の内容を踏まえ、令和4年3月の総合教育会議において、令和6年度に既存の施設を活用した施設分離型の義務教育学校へ再編することを決定しました。

一方、義務教育学校の特徴を最大限に生かす一体型校舎について、まちづくりの観点等を踏まえ総合的に勘案し、補助金や交付金等を利用して最も効率的・効果的な方法での整備を検討する必要があります。

球磨村の学校施設は、村が保有する公共施設の総延床面積の多くを占めていることから、学校施設の整備については、公共施設マネジメントの取組全体の中で非常に重要な項目となります。

また、その多くは老朽化が進み、さらに小学校の学級編制基準の引下げによる35人学級への移行や、学習指導要領の改訂に伴う新たな指導内容への対応に加え、近年の猛暑への対応、バリアフリーへの対応、避難所としての活用、公共施設の複合化など、学校施設を取り巻く環境は複雑かつ多様化しています。

こうした状況を鑑み、将来的な維持管理等を見据え、公共施設マネジメントの観点も踏まえながら、義務教育学校施設の基本構想を策定する必要があります。

### (2) 基本構想の目的

義務教育学校体制でのより良い教育環境を目指すため、学校施設のあり方及び校舎予定地選定のために必要な情報を整理し複数の候補地を比較検討するとともに、今後の設計業務を速やかに行うことを目的として基本構想を策定します。

## 2 基本構想の諸条件整理

### (1) 学校施設の総面積と児童生徒数

学校施設の総面積と児童生徒数は、以下のとおりです。

表 施設の総面積及び児童・生徒数、学級数

施設名	用途	総面積 (㎡)	児童・生徒数	学級数
1 渡小学校	校舎・屋内運動場	2,980	62人	8
2 一勝地小学校	校舎・屋内運動場	3,060	56人	5
3 球磨中学校	校舎・屋内運動場	6,348	62人	6

児童生徒数及び学級数は令和4年度5月1日現在のもの。  
総面積は被災当時のもの。

資料：「令和4年度 球磨村学校施設台帳」

### (2) 学校施設の配置状況

学校施設の配置状況は以下のとおりです。



配置状況は被災当時のもの。

図 学校配置図

### (3) 学校施設のあり方

学校施設は、子どもたちの安全と安心が保たれ、健やかな成長を見守り支える学習活動・生活の場で、学校教育活動を行うための施設であると同時に、地域住民にとっては生涯に亘る学習やスポーツの場でもあります。

また、必要十分な教育活動が行える機能や環境を整え、災害時においては避難所としての役割も果たし、防犯・防災機能を備えた安全・安心で衛生的な施設で、さらにコミュニティの核として多機能な役割を備えた施設である必要があります。

球磨村には、小学校が2校、中学校1校の学校施設が整備されていますが、老朽化が進んでいる施設もあり、改修コストが高むことが見込まれます。

本村が所有するこれらの学校施設について、近年の厳しい財政状況及び上述の背景や本村の関連する計画を踏まえ、中長期的及び総合的な観点で捉え、老朽化対策や質的整備を進めながら、施設整備に係るコストを抑制していく必要があります。

### (4) 学校施設の実態

令和4年2月に策定した「球磨村学校施設等長寿命化計画」では、各建物の資料に基づき内容及び状況を整理し、把握したうえで劣化状況評価を実施しました。

本村の学校施設対象建物は34棟で延床面積あたり1.3万㎡あります。そのうち27棟(延床面積1万㎡)は築30年以上です。1981(昭和56)年以前の旧耐震基準で建設された建物は、25棟(延床面積1万㎡)であり、棟ベースで74%、延床面積ベースで80%を占めています。

## 3 球磨村立義務教育学校建設の基本方針

### (1) 基本目標

学校施設は子どもたちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件の一つであります。また、地域コミュニティの拠点であるとともに、地域の防災拠点としても重要な役割を担っています。

学校がこのような役割を果たしていくためには、学校施設は常に子どもたちの学習・生活の場としてふさわしい機能を備える必要があるとともに、地域住民の生涯学習の場、災害時の避難場所としての機能も備えておく必要があります。

また、「球磨村教育振興基本計画」において教育の基本理念を「子どもはむらの宝」とし、目指す教育を下記のとおりとしています。

**ふるさとへの愛着と誇りを持ち、**

**こころ豊かで進んで学ぶ球磨村っ子**

令和2年7月豪雨で被災した経験を踏まえ、子どもたちが安心して学校生活を送り、災害に強く、安全かつ機能性に優れ、地域とともに学び合えるよう校舎となることを願い、下記を校舎建設における基本目標とします。

**「ふるさとへの愛着と誇りを持ち、こころ豊かで進んで学ぶ球磨村っ子」**

**を実現するため、コミュニティの中核をなし、機能性に優れた安全・安心な学習環境の整備**

## (2) 基本方針

新校舎設置にあたり、基本目標を実現するため目指す子ども像をもとに、教育委員会として学校へ求める姿をまとめ、特に重要視する項目を次の4つの柱とし、新校舎設置の基本方針とします。

### 基本目標

「ふるさとへの愛着と誇りを持ち、こころ豊かで進んで学ぶ球磨村っ子」を実現するため、コミュニティの中核をなし、機能性に優れた安全・安心な学習環境の整備

### 基本方針

自ら学び続けることを推進する環境

思いやりがあり、安心して学習できる環境

心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬくための環境

ふるさとを愛し、地域とのつながりを深めるための環境

## (3) 整備方針

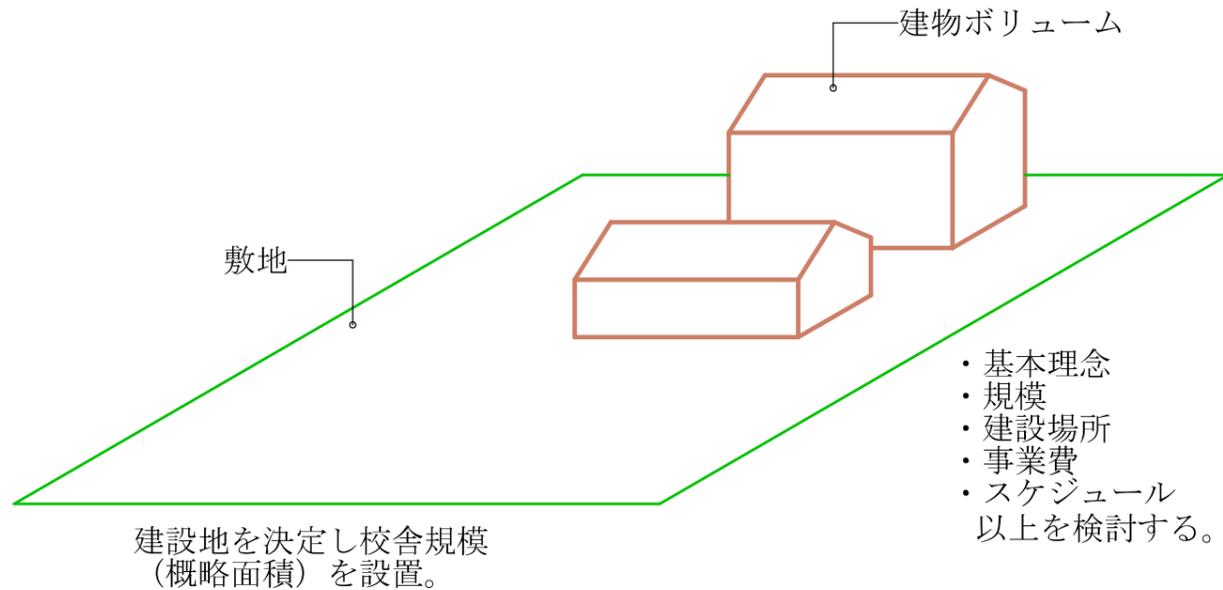
基本方針を踏まえ、球磨村立義務教育学校の整備方針を次のとおり設定します。

基本方針	整備方針	
自ら学び続けることを推進する環境	学習環境の充実	ゆとりあるスペースで自ら学ぶ意欲を育む環境
		9年間の成長に合わせた環境の整備 教科別特別教室の充実
	I C T環境、支援システムの充実	校内無線LAN等インターネット環境の充実 教職員の負担が軽減される環境
思いやりがあり、安心して学習できる環境	図書機能の充実	豊富な蔵書を配架した図書室 のびのびと読書ができるような環境の整備
	災害に強く、地域の防災拠点となる環境整備	風水害、地震等の自然災害に強い学校施設 防災機能を備えた学校施設
	防犯機能の充実	不法侵入等を防ぎ安心して学習できる施設 防犯カメラ等の設置
心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬくための環境	特別な支援を要する子どもたちを考慮した環境整備	バリアフリー、合理的配慮を備えた施設 相談室等、クールダウンできる空間の充実
		運動施設の充実
ふるさとを愛し、地域とのつながりを深めるための環境	地域との交流を深めるための環境整備	ふるさと学習を充実させる環境の整備 地域に開かれた学校の環境整備
	避難所機能の充実	安全な避難所としての活用を考えた環境整備 高齢者や障がい者にも配慮した環境整備

#### 4 基本構想概要

##### 基本構想とは

現小中学校の状況把握し義務教育一体型校舎の考え方の『骨格』となるものを作ります。



工程	内容
基本構想	校舎の設計・工事を進める上での根幹となる構想であり、利便性・機能性・周辺環境との連携性等の観点から、校舎の具体的な課題や条件を整理するなど場所や機能、概算工事費など具体的な案を示す。



工程	内容
基本設計	校舎の構造や配置、レイアウト、備えるべき機能や設備、内外のデザイン等を設計書として取りまとめるもので、校舎の具体的なイメージが明確となるもの。
実施設計	基本設計に基づき、工事施工を考慮した上、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計書であり、工事施工に向けて工事費の具体的な積算を行うもの。

#### 5 義務教育学校施設形態について

義務教育学校を運営していく上で教育活動の取組を充実させるためには、施設的な配慮が重要です。施設面の課題としては、児童生徒の発達段階に応じた施設的な配慮、児童生徒の交流促進、教職員の小中一貫した運営体制への対応、保護者・地域住民の活動拠点としての施設計画、防災拠点としての機能などが挙げられます。

義務教育学校の施設形態は、主に3つに分類され「施設一体型」・「施設隣接型」・「施設分離型」がありますが、平成30年8月に国立教育政策研究所文教施設研究センターが作成した「義務教育学校等の施設計画の推進に関する調査研究報告書」では、アンケート調査等により全国の小中一貫教育校において実際どのような施設整備が実施されているか、実施された整備が学校現場においてどのように受け止められているか、各形態の整備にどの程度費用がかかっているかといった実態をまとめています。

当該報告書によると、一体型施設は新築で面積的な余裕もあり、施設的な工夫も多くみられるため、学校現場の評価は高く、施設面の総合的な満足度は他の形態に比べて高い傾向にあると評価されています。

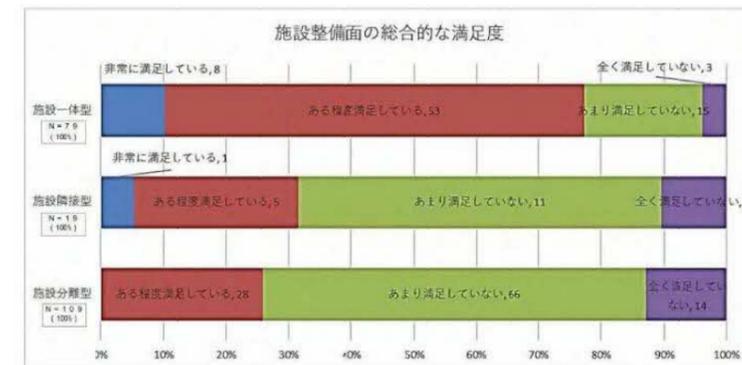


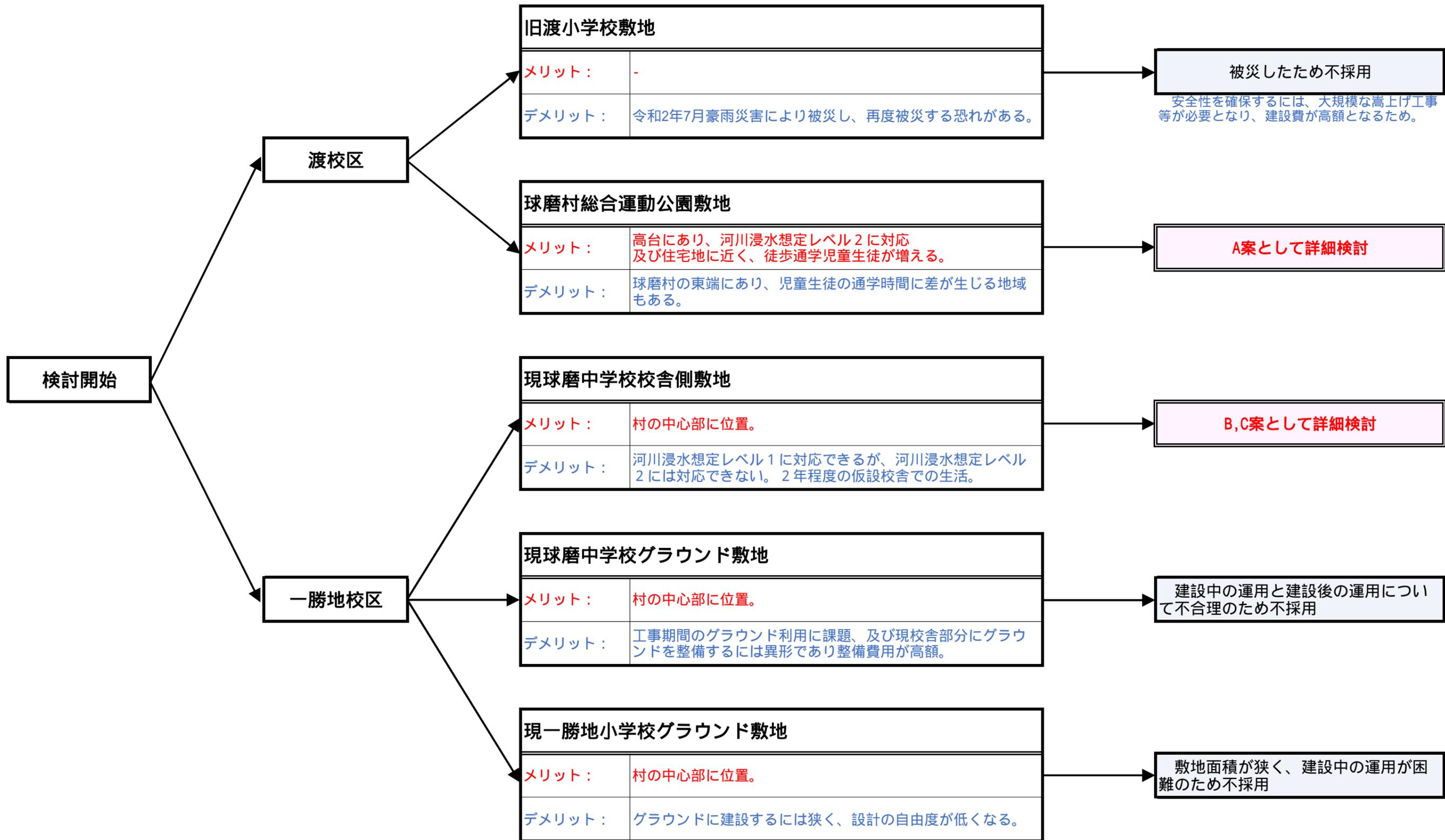
表 施設形態別  
施設面の総合的な満足度

隣接型施設や分離型施設が一体型施設よりも満足度が低い要因としては、次のものが挙げられます。

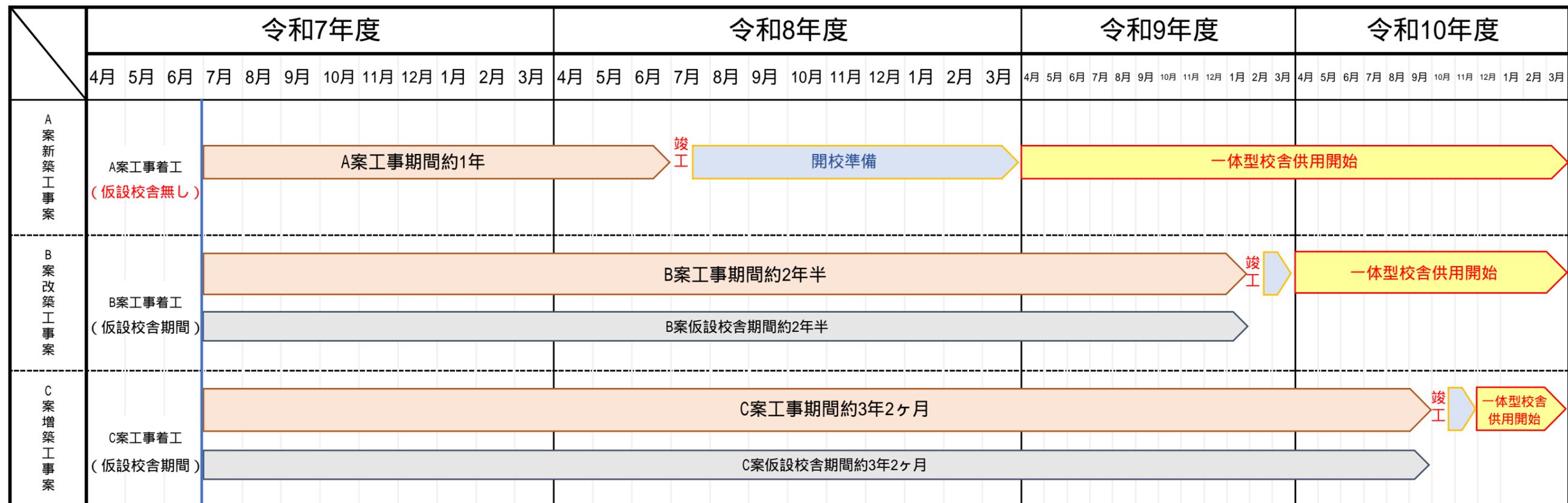
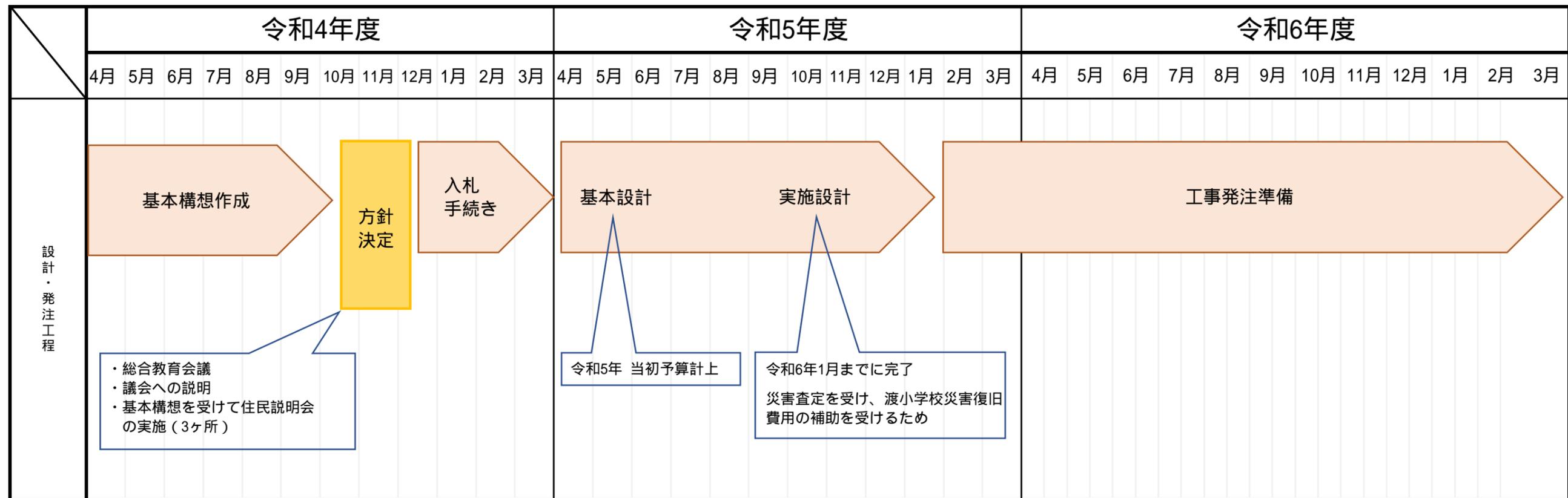
- ・行き来するための道が整備されていないため、気軽に職員や子どもたちが行き来できる状況にない
- ・校舎の行き来に時間がかかるので、乗入授業が大変である
- ・職員室が施設それぞれに配置してあるため細かい連絡調整が大変である
- ・小・中それぞれのよさを引き出し、職員同士がお互いを理解するためには、職員室は同じほうが良い
- ・施設に打ち合わせや多様な活動をするための教室のゆとりがない
- ・学園全体の職員が一堂に会し会議等を実施できる十分なスペースがない
- ・学校施設（図書室等）の住民利用を考えても、配置上の問題があり実施しづらい

参考文献：義務教育学校等の施設計画の推進に関する調査研究報告書  
国立教育政策研究所文教施設研究センター（平成30年8月）

6 建設予定地検討フローチャート



7 整備スケジュール



令和7年7月ごろ工事着工  
 交付決定を受け、工事着工を行う

8 建設予定地比較表

判定の凡例 : 最良 ○ : 良 : 現状と変化無し及び並 : 対応が困難

	計画概要	概算工事費	工事期間の校舎管理	整備後の校舎管理	整備後の動線	(耐震等級)校舎の耐久性	(居住性)駐車台数	建物位置	(土砂災害警戒区)河川浸水想定及び	災害時の校舎利用	工事期間	
A案	球磨村総合運動公園に新校舎を移設新築する案。 解体建物：球磨中学校 さくらドーム 仮設校舎：不要	4,616,368千円 体育館等も含むので高額	既存利用で良好。(工事騒音が無いため、工事によるストレスは無い)	全建物を計画、整備するため良好。	全建物を計画、整備するため良好。	新築のため良好。 (耐震等級1.25)	全建物を計画、整備するため良好。 駐車台数：100台	球磨村の東端に位置する。	L2(1000年に一度)に対応。 (校舎側の一部がイエローゾーン)	幹線道路である国道219号に近く、復旧が優先的に行われることが考えられるため、早期の学校再開が見込まれる。	全建物を計画、整備するため災害時対応の施設にすることも可。	約12ヶ月 (約1年)
判定												
B案	既存校舎を解体し、新たに校舎を建設する案。 解体建物：球磨中学校 仮設校舎：中学校部分の仮設校舎が必要	3,452,827千円 仮設校舎費用が高額	運動場等の広い範囲に仮設校舎が必要となり、工事期間中に運動場利用を検討する必要がある。	基本的に現況と変わらないが、現況と同じように運動場の分離がある。	校舎のみ計画、整備するため良好。(但し、現況と同じ運動場とは分離)	校舎のみ新築のため良好。 (耐震等級1.25)	校舎のみ計画、整備するため良好。(但し、現況と同じ運動場とは分離) 駐車台数：65台	球磨村の中心に位置する。	L1(100年に一度)に対応。〔L2対応とする場合、敷地の嵩上げや建物高さの調整で億単位で工事費が上がる。〕 (全敷地イエローゾーン)	周辺の河川が氾濫し橋が通行止めになった場合、橋の復旧には時間を要する事が考えられ、一定の期間登校ができない可能性がある。	校舎のみを計画、整備するため部分的な災害対応の施設にすることも可能であるが、177寸断時の検討が必要。	約30ヶ月 (約2年半)
判定		○										○
C案	校舎の一部を解体、増築し既存部分は改修する案。 解体建物：球磨中学校(一部) 仮設校舎：中学校部分の仮設校舎が必要	2,672,768千円 既存利用するため他案より安価(但し、注1参照)	管理部門との動線の連結が不便であり、工事騒音の問題がある。	既存利用しながらの増築のため計画に制限があり、現況と同じように運動場の分離がある。	既存利用しながらの増築のため動線に制限がある。	既存校舎コンクリート中性化により、他案に比べ良好ではない。 (耐震等級1)	40年前の学校整備基準(ワークスペース等は無し) 駐車台数：50台	球磨村の中心に位置する。	L1(100年に一度)に対応。〔L2対応とする場合、敷地の嵩上げや建物高さの調整で億単位で工事費が上がる。〕 (全敷地イエローゾーン)	周辺の河川が氾濫し橋が通行止めになった場合、橋の復旧には時間を要する事が考えられ、一定の期間登校ができない可能性がある。	既存利用部分が大半のため、災害時の対応は現況とあまり変わらない。	38ヶ月 (約3年2ヶ月)
判定												

注1：C案改修工事後20年で平均約3千万円/年の維持更新コストが掛り、20年後に再び改築工事の計画が必要となる。 球磨村学校施設等長寿命化計画により

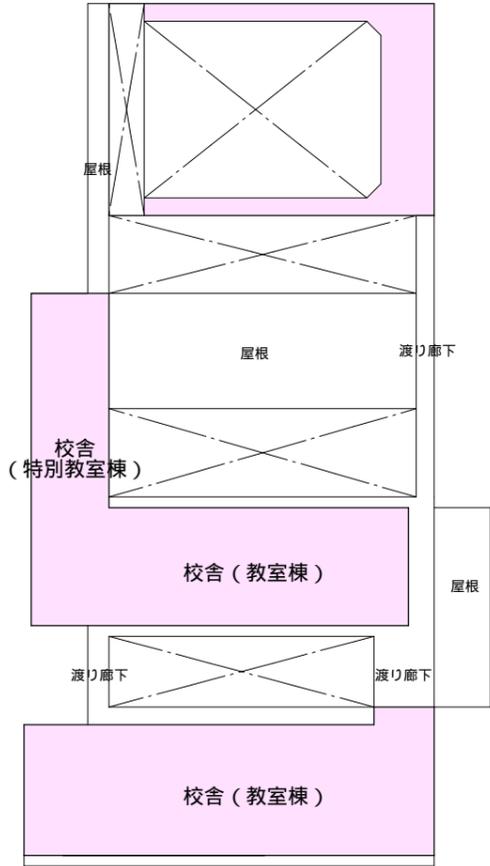
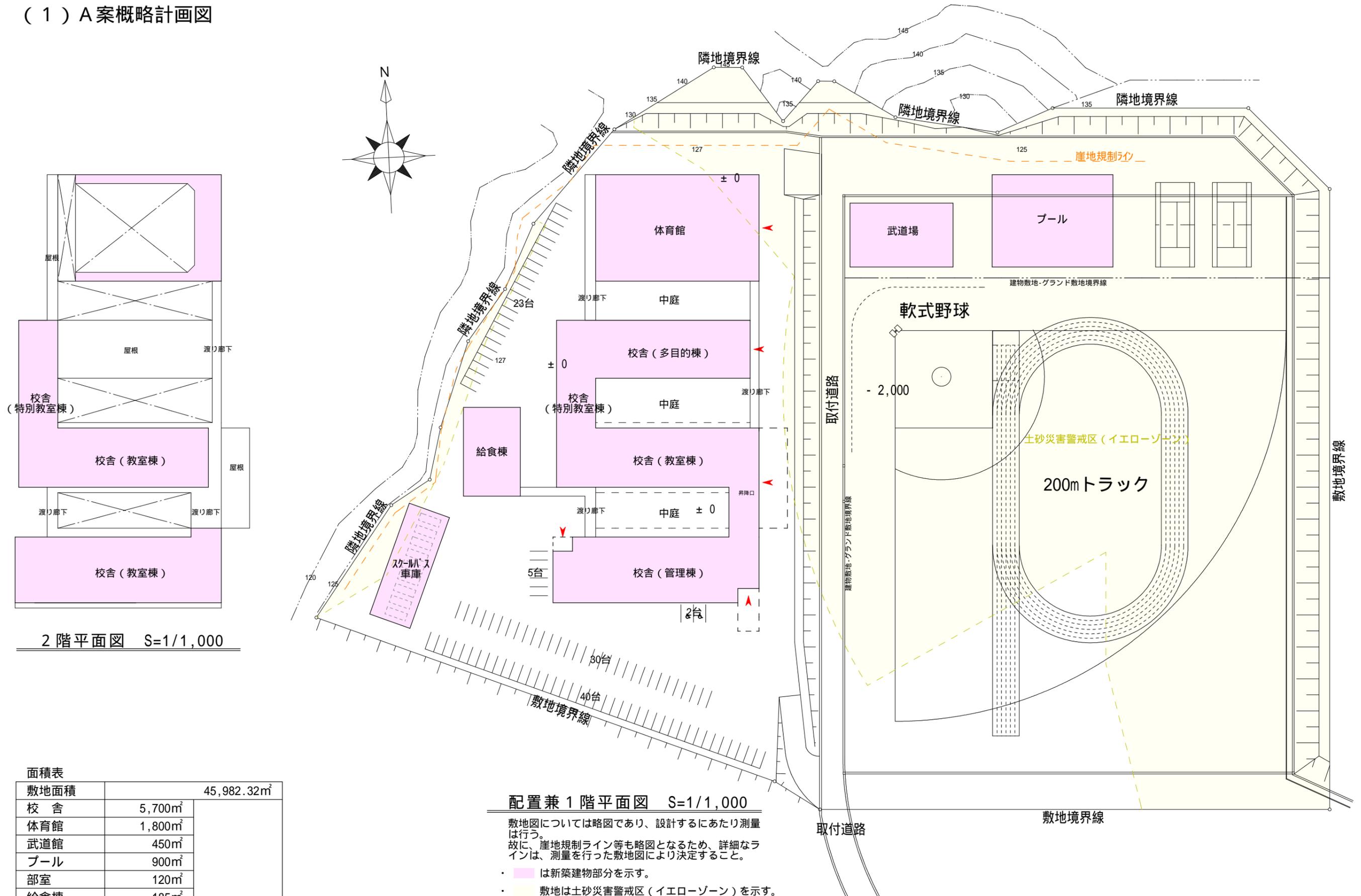
概算工事費内訳（税抜き）

金額については、設計図を元に算出していないため概略による算出となる。

	測量費	設計監理委託費		地盤調査費	建設工事費	改修工事費	仮設校舎費	解体費	合計	備考
		建築設計費	工事監理費							
A案	¥5,100,000	¥434,668,000		¥17,490,000	¥3,936,660,000	-	-	¥222,450,000	¥4,616,368,000	・設計費に解体設計費も算入 ・地盤調査費20m×10箇所
		¥321,595,000	¥113,073,000							
B案	-	¥306,757,000		¥4,910,000	¥2,589,420,000	-	¥379,000,000	¥172,740,000	¥3,452,827,000	・設計費に解体設計費も算入 ・地盤調査費6m×6箇所
		¥229,911,000	¥76,846,000							
C案	-	¥186,409,000		¥2,880,000	¥1,259,072,000	¥774,960,000	¥388,800,000	¥60,647,000	¥2,672,768,000	・設計費に解体設計費も算入 ・地盤調査費6m×3箇所
		¥139,020,000	¥47,389,000							

- ・造成設計費は含んでいません。（造成工事について必須ではないため。）
- ・地盤調査費箇所数については想定のため、増減する可能性があります。
- ・地盤調査費調査深さについては、近隣を参考としています。
- ・規模、仕様、構造が確定していないため、確認申請等の申請手数料は含んでいません。
- ・建設工事費については、工法、仕様で大きく変わります。
- ・建設工事費については、昨今の物価上昇を勘案し割増しをしています。
- ・解体工事費について、アスベスト分析費及びアスベスト撤去費も含んでいません。

(1) A案概略計画図



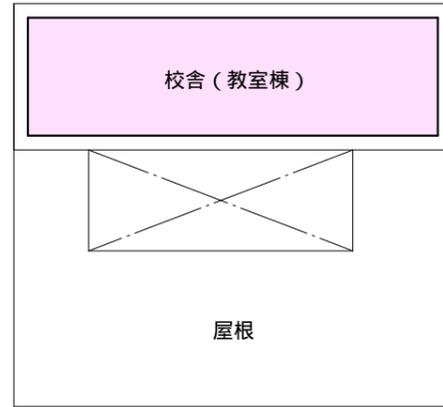
配置兼1階平面図 S=1/1,000

敷地図については略図であり、設計するにあたり測量は行う。  
 故に、崖地規制ライン等も略図となるため、詳細なラインは、測量を行った敷地図により決定すること。

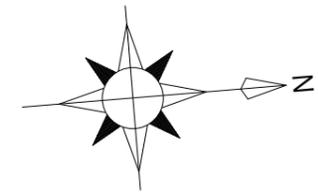
- ・ は新築建物部分を示す。
- ・ 敷地は土砂災害警戒区(イエローゾーン)を示す。

面積表		
敷地面積		45,982.32㎡
校舎	5,700㎡	9,555㎡
体育館	1,800㎡	
武道館	450㎡	
プール	900㎡	
部室	120㎡	
給食棟	185㎡	
スクールバス車庫	400㎡	

(2) B案概略計画図



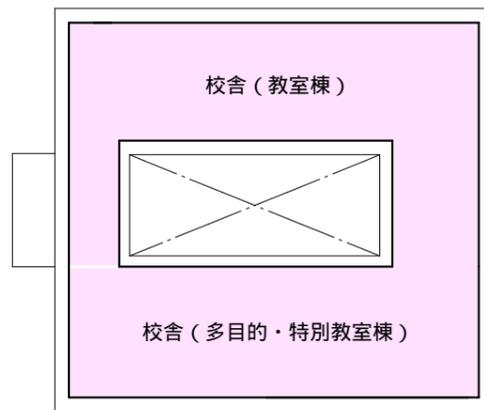
3階平面図



面積表

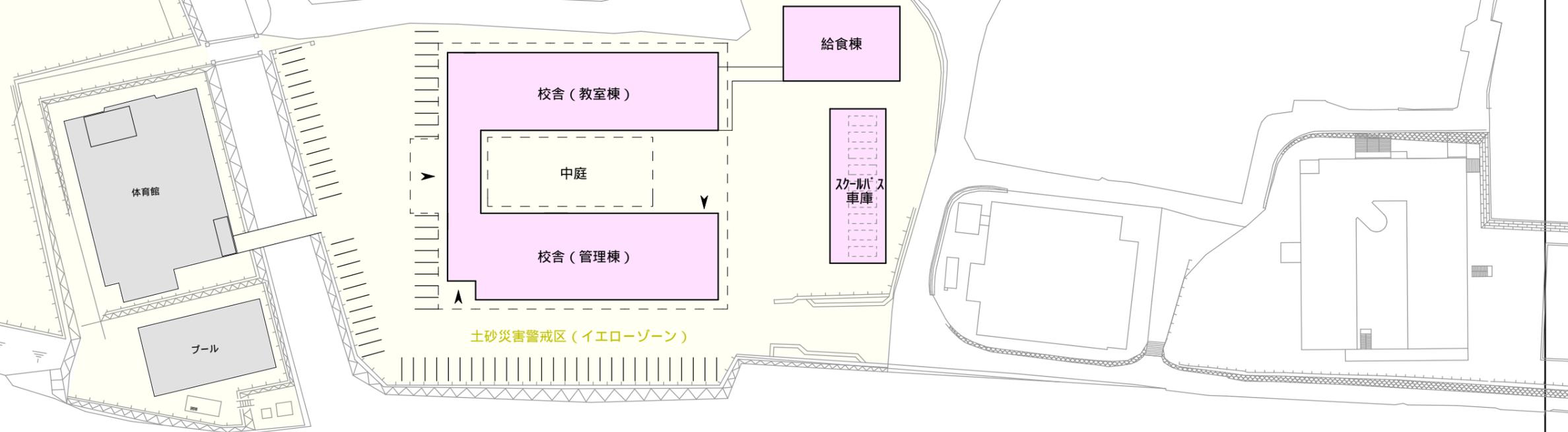
敷地面積		9,006m <sup>2</sup>	グラウンド、体育館、プール部分未算入
校舎	5,700m <sup>2</sup>	6,285m <sup>2</sup>	
給食棟	185m <sup>2</sup>		
スクールバス車庫	400m <sup>2</sup>		

- ・  は新築建物部分を示す。
- ・  敷地は土砂災害警戒区(イエローゾーン)を示す。  
(敷地全てが土砂災害警戒区に入っている)



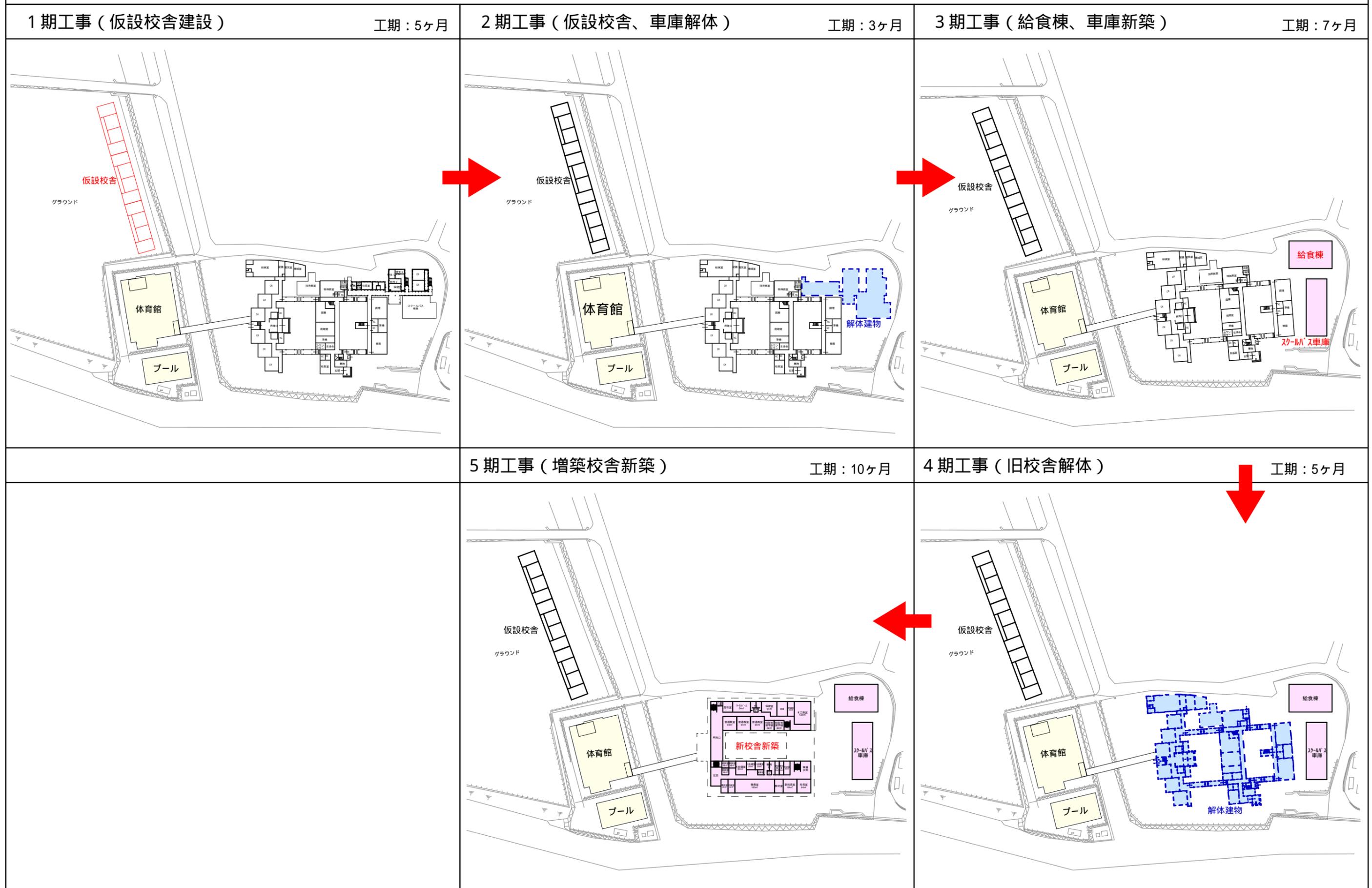
2階平面図

グラウンド  
土砂災害警戒区(イエローゾーン)

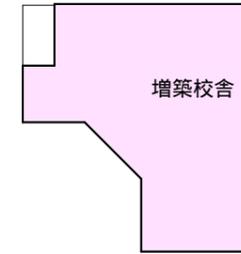
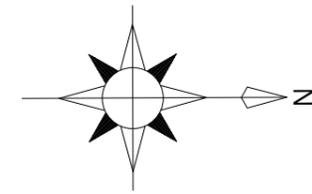


配置兼1階平面図 S=1/1,000

# B 案概略計画工程図



(3) C案概略計画図

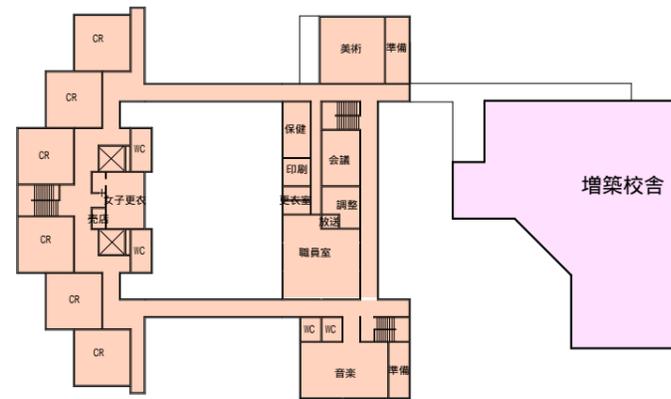


3階平面図

面積表

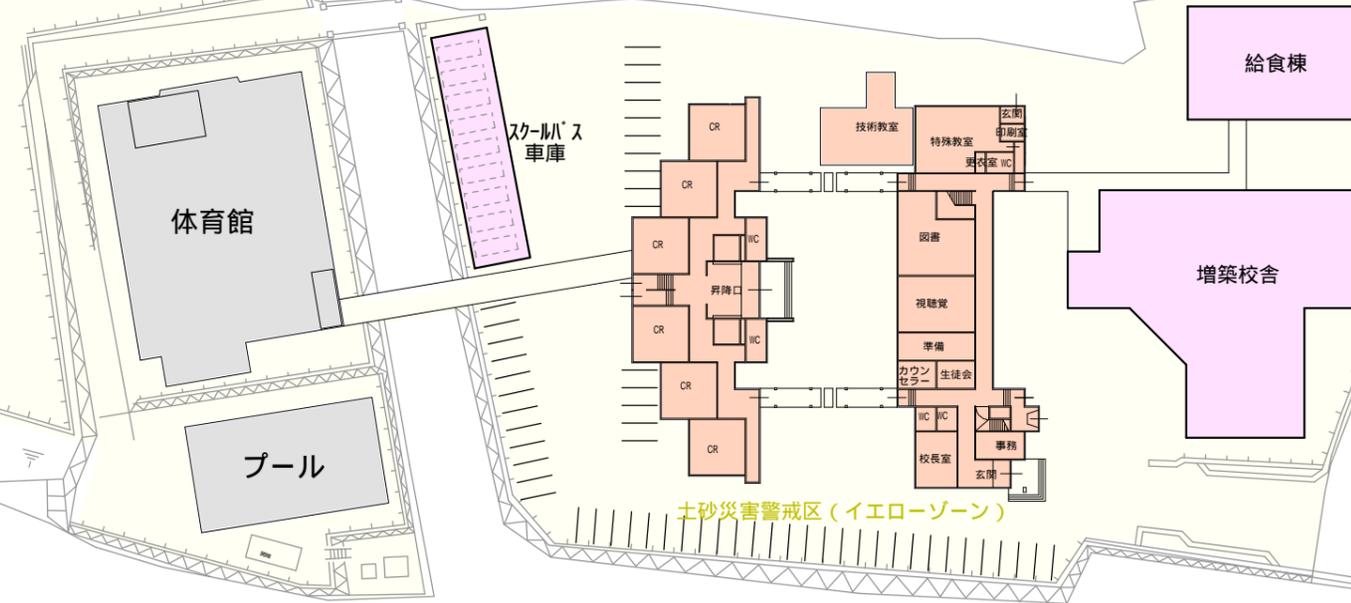
敷地面積	9,006㎡		グラウンド、体育館、プール部分未算入
校舎	改修部 3,229㎡	2,471㎡	
	増築部 2,471㎡		
給食棟	185㎡		
スクールバス車庫	400㎡		6,285㎡

- ・ 増築建物部分を示す。
- ・ 改修部分を示す。
- ・ 敷地は土砂災害警戒区（イエローゾーン）を示す。  
（敷地全てが土砂災害警戒区に入っている）



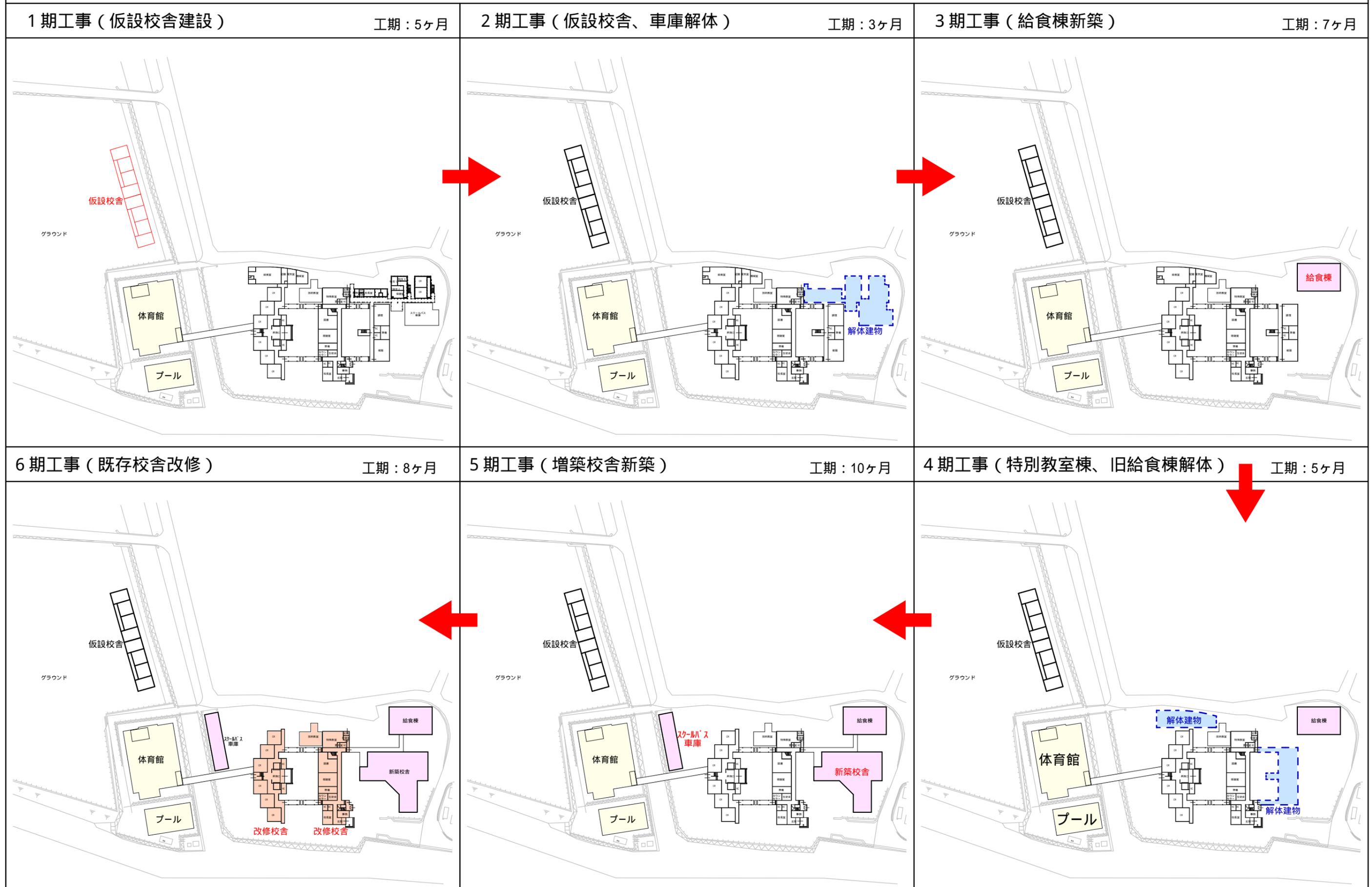
2階平面図

グラウンド  
土砂災害警戒区（イエローゾーン）



配置兼1階平面図 S=1/1,000

# C 案概略計画工程図



9 必要諸室、概略面積表

室名		概要	室数	1室あたり面積	面積	室名	概要	室数	1室あたり面積	面積		
校舎棟	児童生徒エリア	普通教室	1～6学年（前期課程）・1～3学年（後期課程）	9	64㎡	576㎡	校舎棟	保健室	シャワー室付	2	64㎡	128㎡
		特別支援学級		6	32㎡	192㎡		大会議室		1	-	50㎡
		ワークスペース	普通教室前に設置	3	64㎡	192㎡		小会議室		2	25㎡	50㎡
		多目的室	英語、地域学習、アフタースクール等に活用	3	64㎡	192㎡		相談室		3	16㎡	48㎡
		多目的ホール	交流スペース	1	-	200㎡		資料室・教材室		適宜		
		木工教室（技術教室）		1	-	125㎡		職員休憩室		1	-	20㎡
		〃 準備室		1	-	32㎡		放送室		1	-	30㎡
		被服教室		1	-	96㎡		トイレ		適宜		
		〃 準備室		1	-	32㎡		多目的トイレ		適宜		
		家庭科教室	調理室を含む	1	-	96㎡		昇降口		適宜		
	〃 準備室		1	-	32㎡	共有		適宜				
	理科教室		2	96㎡	192㎡	エリア		適宜				
	〃 準備室		1	-	32㎡	湯沸室		適宜				
	美術・図工教室		1	-	96㎡	エレベーター	13人乗り（福祉仕様）	1	-	6㎡		
	〃 準備室		1	-	32㎡	廊下・その他		適宜				
	音楽教室		1	-	96㎡	<b>校舎合計</b>		<b>5,700㎡</b>				
	〃 準備室		1	-	32㎡	<b>体育館</b>	バレー2面、バスケット2面、バトミントン6面、ステージ、トイレ	<b>1,800㎡</b>				
	視聴覚多目的室		1	-	96㎡	<b>武道館</b>		<b>450㎡</b>				
	〃 準備室		1	-	32㎡	<b>プール</b>	25m、5コース（18mx30m）、小プール 更衣室、トイレ、機械室	<b>900㎡</b>				
	図書室		1	-	150㎡	<b>部室</b>	10室程度	<b>120㎡</b>				
生徒会室		1	-	30㎡	<b>給食室</b>	250食程度	<b>185㎡</b>					
更衣室（児童・生徒）		適宜		50㎡	<b>スクールバス車庫</b>	9台	<b>400㎡</b>					
教員エリア	職員室	事務2名・教員30名・養護経論2名・校長1名・副校長1名・教頭2名	1	-	180㎡	<b>総合計</b> <b>9,555㎡</b>						
	校長室		1	-	64㎡							
	副校長室		1	-	64㎡							
	事務室		1	-	28㎡							
	印刷室		1	-	32㎡							
	更衣室（職員）	男女を分ける	2	20㎡	40㎡							
<b>特記事項</b> ・各面積は、目安であり面積の調整はあり得る。 ・室は現状での必要諸室のため、設計協議により室及び建物の追加はあり得る。												

10 その他 (1) 現況校舎等状況写真

球磨中学校



一勝地小学校



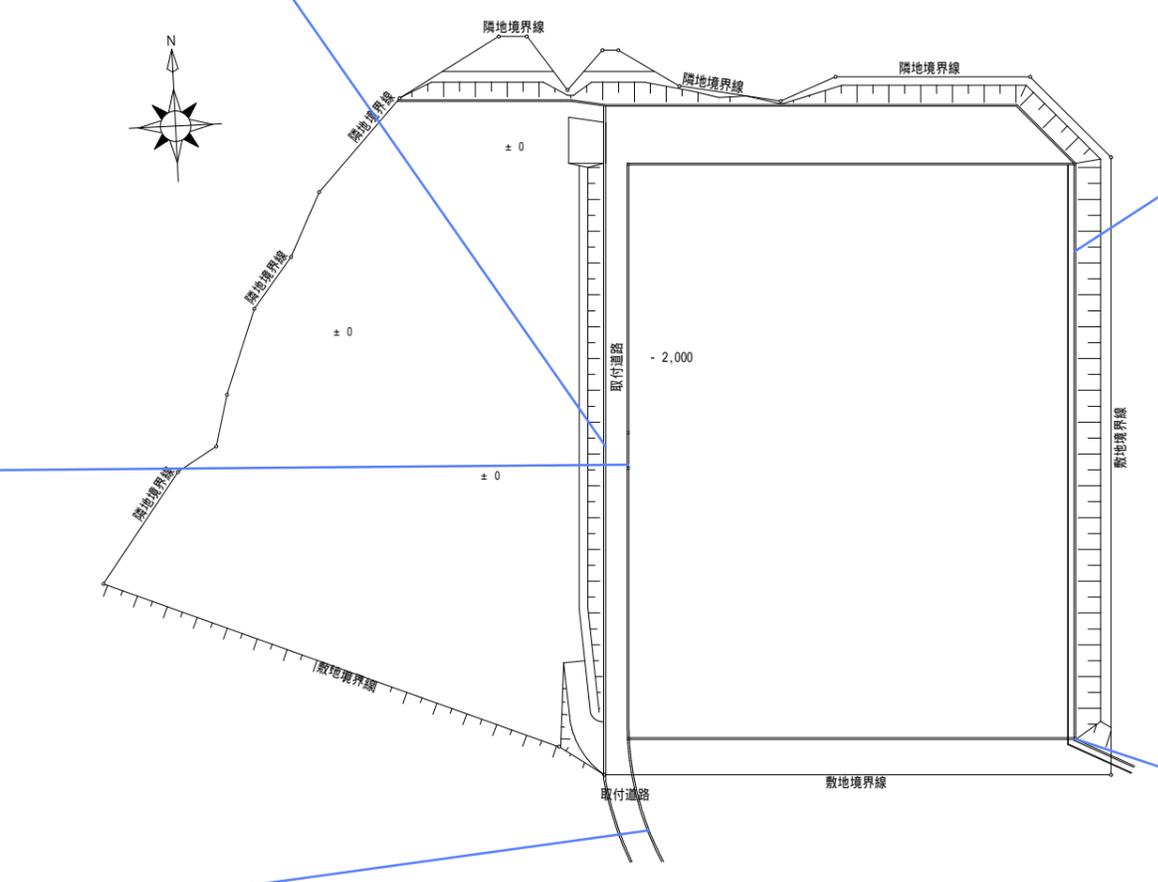
渡小学校



総合運動公園



( 2 ) 球磨村総合運動公園 排水側溝状況写真



球磨村総合運動公園排水側溝について、添付写真部は『球磨村総合運動公園測量設計委託業務』に記載あるサイズに変更はなかった。(但し、幅は図面と同じだが、深さについては沈泥等で若干の違いがあった。)

